るでであるは 福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステム

1. 遠州灘沿岸では何が起きているのか?



遠州灘海岸は、主に天竜川からの土砂が、波・風の作用によって海岸線に沿って移動し海岸を形成してきました。

近年、天竜川からの土砂供給が減少し、土砂の供給と移動のバランスが崩れた場所では砂浜が減少し、海岸侵食が起きています。

流域から河川に供給 される土砂の減少

- 砂防施設・治山施設
- 土地利用

河川から海岸へ供給 される土砂の減少

- ダム
- 土砂採取

海岸における 土砂移動の阻害

防波堤、導流堤など

■問い合わせ先 静岡県袋井土木事務所

〒437-0042 静岡県袋井市山名町2番1号 【企画検査課】TEL(0538)42-3216 FAX(0538)42-1782



がで 福田漁港・護羽海岸サンドバイパスシステム

2. 福田漁港・浅羽海岸の現状は?



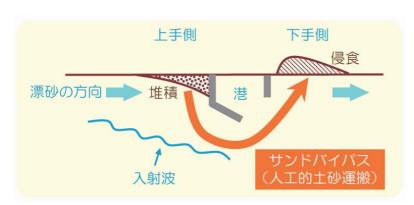
福田漁港は、江戸時代に千石船も出入りした古くからの港ですが、 航路(船の出入口)が川や海からの砂で埋まってしまうことに悩ま されてきました。

シラス漁業の基地となった現在も、防波堤の西側にたまった砂が航路に回り込むと水深が浅くなり、漁船が安全に出入りできません。

そこで従来は、航路に堆積した砂を船で浚渫し、ダンプ・船等で 運んで浅羽海岸へ投入してきました。 (サンドバイパス)

しかし、天竜川からの土砂供給減少もあり、浅羽海岸の侵食が進んでいます。 ______

サンドバイパスを継続的に行う方法を検討



サンドバイパスとは?

海岸等において堆積した砂 を侵食箇所へ運搬し砂浜を復 元する工法

るくで 福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステム

3. 福田漁港・浅羽海岸での取組み

国内で初めて、固定設備で吸い上げた砂をパイプラインで輸送する方法として「ジェットポンプ式サンドバイパスシステム工法」を採用しました。

4. ジェットポンプ或サンドバイバスシステム工法とは?



防波堤付近に堆積した土砂を、桟橋に取り付けた吸込口(ジェットポンプ)によって海水とともに吸込み、排砂管(パイプライン)を通して約2.2km先の浅羽海岸へ輸送します。



るくで 福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステム

5. ジェットポンプ式サンドバイバス工法の仕組み

☆年間計画土砂移動量 80,000m3

☆運転時間 平日 8時30分 ~ 17時

※5~8月はアカウミガメの夜間上陸を考慮し16時まで

☆ジェットポンプ設置数 4基(必要に応じて2基増設)



☆サンドバイパスシステムの利点

- ①操作性が高い
- 操作室内から自動制御できるため少人数で運転可能。
- ②安全性が高い
- ダンプ運搬や海上作業の必要がなく、航行船舶への影響もない。
- ③コストが安い
- ・ダンプや船で運搬することに比べ、コストを約2割縮減できる。

るくで 福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステム

5. ジェットポンプ式サンドバイバス工法の仕組み

• 作業は操作室にてモニタリング管理



- ①液状化水で周辺の土砂を攪拌し、緩める。
- ②高圧駆動水を上向きに噴射し、緩めた土砂を吸い上げる。
- ③排砂管を通して、土砂を浅羽海岸へ輸送



- ・ジェットポンプ周辺の土砂が無くなった状態で、他のジェットポンプに運転を切り替える。
- 1日あたりダンプ200台分の土砂を輸送可能



桟橋



桟橋は、福田漁港西防波堤から沖に向かって設置されています。桟橋にはジェットポンプを取り付け、海底から土砂を採取します。 拡大

ジェットポンプの仕組み





拡大

液状化水(青色)を海底面に吐き出して、堆積した 土砂を緩めて舞い上がらせ、高圧駆動水(白色) と一緒にスラリー*(赤色)として吸い上げます。

*スラリー:土砂が混じった海水